

科目名		社会科学講義(政治)									
科目名(英)											
単位数	6単位 (3単位に相当)		時間数	45時間/90時間		担当者	村田 祐貴子				
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験					
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年									
授業概要		公務員1次試験において出題される政治分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。									
授業形態		講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					社会科学の政治分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。					
テキスト・教材 参考図書		・担当講師によるオリジナルレジュメ									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	統治機構 三権分立					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	2	統治機構 国会① 国会					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	3	統治機構 国会② 国会の権限					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	4	統治機構 国会③ 国会議員の特権					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	5	統治機構 国会④ 衆議院の優越					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	6	統治機構 内閣① 内閣					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	7	統治機構 内閣② 内閣総理大臣					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	8	統治機構 裁判所① 裁判所の役割					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	9	統治機構 裁判所② 司法権の独立					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	10	統治機構 裁判所③ 違憲立法審査権					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	11	統治機構 地方自治① 地方自治の本旨					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	12	統治機構 地方自治② 地方自治の組織					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	13	統治機構 地方自治③ 直接請求権					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	14	日本国憲法の基本的性格① 日本国憲法の成り立ち					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	15	日本国憲法の基本的性格② 大日本帝国憲法との違い					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	16	統治機構 選挙制度① 民主選挙の原則					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	17	統治機構 選挙制度② 政党					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	18	民主主義の発展① 民主主義の成り立ち					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	19	民主主義の発展② 社会契約説					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	20	各国の政治制度① イギリスの政治制度					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	21	各国の政治制度② アメリカの政治制度					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	22	各国の政治制度③ その他の政治制度					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	23	基本的人権の尊重 人権保障					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	24	基本的人権の尊重 自由権① 思想・良心の自由					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				

科目名	社会科学講義(経済)				
科目名(英)					
単位数	6単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/90時間	担当者	村田 祐貴子
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年				
授業概要	公務員1次試験において出題される経済分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。				
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○				
目標					
社会科学の経済分野について、本試験問題を解くのに必要な知識を習得する。					
テキスト・教材 参考図書					
・担当講師によるオリジナルレジュメ					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	経済のしくみ 市場と価格① 需要と供給			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	2	経済のしくみ 市場と価格② 価格機構			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	3	経済のしくみ 市場と価格③ 市場の失敗			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	4	経済のしくみ 市場と価格④ 不完全競争市場			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	5	経済のしくみ 市場と価格⑤ 独占・寡占			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	6	企業のしくみ 企業の種類① 株式会社のしくみ			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	7	企業のしくみ 企業の種類② 経済用語			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	8	景気と物価① 景気変動			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	9	景気と物価② インフレ			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	10	景気と物価③ デフレ			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	11	金融と日本銀行の金融政策① 金融のしくみ			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	12	金融と日本銀行の金融政策② 金融政策			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	13	金融と日本銀行の金融政策③ 公開市場操作			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	14	金融と日本銀行の金融政策④ 金融に関する用語			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	15	財政政策① 国家の変遷			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	16	財政政策② 予算			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	17	財政政策③ 財政の役割			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	18	為替レートと貿易① 自由貿易と保護貿易			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	19	為替レートと貿易② 為替レート			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	20	為替レートと貿易③ 国際収支			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	21	国際経済との関わり① 戦後の国際経済			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	22	国際経済との関わり② 地域経済			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	23	国際経済との関わり③ 新興経済地域			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	24	国民所得と経済成長① ストックとフロー			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。

	25	国民所得と経済成長② 経済指標			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	26	国民所得と経済成長③ 新しい指標			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	27	現代日本経済の構造と課題① 戦後の経済改革			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	28	現代日本経済の構造と課題② 高度成長期			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	29	現代日本経済の構造と課題③ オイルショック後			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	30	経済学史			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回に跨って説明することがある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		社会科学講義(社会時事)					
科目名(英)							
単位数	6単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/90時間	担当者	村田 祐貴子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される社会・時事分野の知識を、市販テキスト『速攻の時事』及び授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					社会科学の社会・時事分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	・『公務員試験 速攻の時事 令和6年度試験完全対応』（資格試験研究会(編集)、実務教育出版、2024年） ・担当講師によるオリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	労働事情 労働三法				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	労働事情 労働問題				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	社会保障 社会保障制度① 社会保障制度の成り立ち				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	社会保障 社会保障制度② 4つの柱				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	社会保障 少子化対策				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	社会保障 公的扶助				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	社会保障 障害者対策				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	環境問題 環境に関する条約				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	環境問題 エネルギー問題				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	環境問題 生態系				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	世界遺産・ノーベル賞				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	各種政策 観光				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	各種政策 消費者問題				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	世界経済				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	日本経済				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		人文科学講義(日本史)					
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	16時間/45時間	担当者	小川 文夫		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年					
授業概要		公務員1次試験において出題される日本史分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。					
授業形態		講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人文科学の日本史分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書		テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメを使用する。					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	大和時代				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	奈良時代				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	平安時代① 摂関政治				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	平安時代② 院政				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	鎌倉時代① 執権政治				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	鎌倉時代② 社会の様子、文化				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	室町時代① 南北朝期				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	室町時代② 戦国期				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	安土桃山時代				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	江戸時代① 鎖国				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	江戸時代② 天保の改革				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	明治時代① 明治維新				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	明治時代② 日清・日露戦争				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	大正時代				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	昭和時代① 戦前の昭和政治史				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	16	昭和時代② 戦後				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意		月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。					

科目名	人文科学講義(世界史)						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	16時間/45時間		担当者	小川 文夫
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される世界史分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人文科学の世界史分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメを使用する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	中世① 中世封建社会、十字軍				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	中世② ルネサンス				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	中世③ 大航海時代				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	近世				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	近代① 産業革命				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	近代② ウィーン体制				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	近代③ 帝国主義				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	中国史① 殷～唐				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	中国史② 宋～明				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	中国史③ 清				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	中国史④ 中華民国、中華人民共和国				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	現代① 第一次世界大戦				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	現代② 戦後				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	現代③ 世界恐慌				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	現代④ 第二次世界大戦				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	16	現代⑤ 冷戦				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		人文科学講義(地理)					
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	13時間/45時間	担当者	小川 文夫		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される地理分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人文科学の地理分野について、本試験問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメを使用する。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	地形① 大地形			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	2	地形② 海岸地形・その他の地形			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	3	気候① ケッペン			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	4	気候② ケッペン、気圧、風			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	5	気候③ 気候区分			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	6	気候④ 気候区分、グラフの見方			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	7	農業① 農業区分			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	8	農業② 各農業の特色①			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	9	農業③、漁業 各農業の特色②			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	10	地下資源① エネルギー資源			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	11	地下資源② 鉱山資源			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	12	工業① 工業の特色			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	13	工業② 各地域の工業			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元につき複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		自然科学講義(物理)					
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	9時間/45時間	担当者	上村 一則		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年					
授業概要		公務員1次試験において出題される物理分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。					
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					自然科学の物理分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書		担当講師によるオリジナルレジュメ					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	速度と加速度				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	力のつり合い①				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	力のつり合い②				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	ばね・浮力				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	運動量とエネルギー①				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	運動量とエネルギー②				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	波動				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	電気と磁気				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	原子と原子核				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意		月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。					

科目名	自然科学講義(化学)						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	11時間/45時間		担当者	上村 一則
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される化学分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自然科学の化学分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	担当講師によるオリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	物質の構造①				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	物質の構造②				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	化学反応式				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	物質の状態				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	酸と塩基				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	酸化・還元				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	気体の性質と溶解度				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	周期表と非金属元素				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	金属元素				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	有機化合物				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	環境				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(生物)									
科目名(英)										
単位数	3単位		時間数	14時間/45時間		担当者	上村 一則			
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年									
授業概要	公務員1次試験において出題される生物分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。									
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					自然科学の生物分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。				
テキスト・教材 参考図書	担当講師によるオリジナルレジュメ									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	生体のつくり					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	2	細胞分裂					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	3	生殖					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	4	遺伝					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	5	酵素					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	6	同化(光合成)					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	7	異化(呼吸、発酵)					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	8	刺激と反応(神経系、目・耳・筋肉)					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	9	恒常性と調節(血液)					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	10	恒常性と調節(自律神経、免疫)					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	11	植物の反応					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	12	動物の行動					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	13	生態系					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	14	進化					月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	月例テスト	◎					72%			
	麻生模試	◎					28%			
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。									

科目名	自然科学講義(地学)						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	11時間/45時間	担当者	上村 一則	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される地学分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					自然科学の地学分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	担当講師によるオリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	地球の構造				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	地震				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	岩石・火山				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	大気構成				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	天気				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	地球の運動				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	太陽系の天体①				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	太陽系の天体②				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	月				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	恒星とその進化				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	地球の歴史				月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎					72%
	麻生模試	◎					28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	数的処理講義(判断推理)											
科目名(英)												
単位数	6単位			時間数		45時間/90時間		担当者		花水 倫尚		
実施年度	2023年度			実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年											
授業概要	公務員採用試験で最重要科目・分野である判断推理について、その頻出テーマをオリジナルテキストとデジタル教材を使用して学習し、解法を理解する。 また、本試験と同内容・同程度の問題に対する解き方を身に付ける。											
授業形態	講義： ○			演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					各単元の基本問題について、解法を理解する。						
		○				本試験と同内容・同程度の練習問題に対する解き方を身に付ける。						
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	数的処理について										
	2	対応関係							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	3	道順・位相							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	4	順序関係							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	5	平面図形							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	6	うそつき							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	7	展開図(1)・展開図(2)							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	8	論理							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	9	集合・人数							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	10	軌跡							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	11	試合・勝敗							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	12	多面体・切断・回転							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	13	空間図形の投影							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	14	位置・方位							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	15	空間図形の分割							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	16	手順							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	17	数量推理							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	18	暗号							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
	19	折り紙							授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。			
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。 これを下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	月例テスト		◎		◎						72%	
	麻生模試		◎		◎						28%	
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。											

科目名	数的処理講義(数的推理)						
科目名(英)							
単位数	6単位 (3単位に相当)		時間数	45時間/90時間	担当者	田辺 英彦	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員採用試験で重要科目・分野である数的推理について、その頻出テーマを授業内で配布されるオリジナルレジュメ・デジタル教材を使用して学習し、解法を理解する。 また、本試験と同内容・同程度の問題に対する解き方を身に付ける。						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					各単元の基本問題について、解法を理解する。	
		○				本試験と同内容・同程度の練習問題に対する解き方を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメ、デジタル教材を使用する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	濃度				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	2	仕事算・ニュートン算				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	3	約数・倍数				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	4	三角形と多角形				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	5	旅人算				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	6	通過算・流水算・時計算				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	7	円・面積(三角形)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	8	場合の数(数え上げ・順列)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	9	場合の数(組合せ・余事象・順列と組合せ・仕切り法)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	10	確率				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	11	面積(円・扇形)・面積(その他)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	12	数列・規則				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	13	比と割合				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	14	売買損益				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	15	立体				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	16	整数・記数法				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
	17	売買損益				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。これを下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。1つの単元を複数回の授業に跨って説明する。 デジタル教材を使用するためスマートフォン・タブレットを準備し受講してください。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	経済原論講義				
科目名(英)					
単位数	3単位	時間数	45時間+ 15時間補講	担当者	名越 大介
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年				
授業概要	公務員1次(学力)試験で必要となる「経済原論(ミクロ経済学、マクロ経済学)」についての基本的知識を習得する。「基本的知識」とは、ミクロ経済学、マクロ経済学における基本体系、グラフ、計算方法の知識のことである。これにより、本試験の基礎及び標準程度の問題を解くことができる理解力を養う。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	目標 経済原論の基本、グラフ、計算を習得させる。その結果、週・月例テストで合格点を取れる。 本試験における基礎及び標準程度の問題について、問題を解き、正解に達することができる。				
テキスト・教材 参考図書	・テキストは使用しない。 ・授業中に配布するプリントを使用する。				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	ミクロ経済学: 効用最大化の基礎: 2コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	2	ミクロ経済学: 効用最大化の応用: 2コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	3	ミクロ経済学: 代替効果・所得効果: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	4	ミクロ経済学: 価格弾力性、期待効用: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	5	ミクロ経済学: 異時点間最適消費、市場の調整過程: 2コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	6	ミクロ経済学: 費用関数、損益分岐点、操業停止点: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	7	ミクロ経済学: 長期関数、独占: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	8	ミクロ経済学: 複占、寡占: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	9	ミクロ経済学: 余剰分析: 4コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	10	ミクロ経済学: ゲーム理論、エッジワース: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	11	マクロ経済学: 45度線分析、乗数理論: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	12	マクロ経済学: IS=LM分析の基礎: 2コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	13	マクロ経済学: IS=LM分析の応用: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	14	マクロ経済学: 消費・投資理論、貨幣理論: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	15	マクロ経済学: AD-AS分析: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	16	マクロ経済学: 自然失業率仮説、ローレンツ曲線: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	17	マクロ経済学: 経済成長理論: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	18	ミクロ経済学: 外部効果、費用逓減産業: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	19	ミクロ経済学: 国際貿易理論: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	20	ミクロ経済学: 生産関数: 3コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	21	マクロ経済学: GDP統計: 2コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
	22	マクロ経済学: 産業連関表: 1コマ			レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。
(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2) 翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。これを下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。					

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		憲法講義									
科目名(英)											
単位数		3単位		時間数		45時間		担当者		安藤 亮英	
実施年度		2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年									
授業概要		公務員1次(学力)試験で必要となる「憲法」についての基本的知識を習得する。「基本的知識」とは、「人権保障」分野においては各人権の内容及び判例の知識、「統治機構」分野においては条文内容の理解のことである。これにより、本試験の基礎及び標準程度の問題を解くことができる理解力を養う。									
授業形態		講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					人権分野についての判例の内容を説明することができる。統治分野について各機関の相互の関係を説明することができる。					
		○				本試験における基礎及び標準程度の問題について、問題を解き、正解に達することができる。					
テキスト・教材 参考図書		・【テキスト】『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 3 憲法 第2版』(TAC株式会社、2022年) ・【問題集】『新スーパー過去問ゼミ6 憲法』(資格試験研究会、株式会社実務教育出版、2020年)									
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	憲法総論(憲法の基本原理、憲法の分類)						【事後】テキストの授業該当範囲を精読しておくこと			
	2	人権保障①(基本的人権の原理)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	3	人権保障②(基本的人権の限界①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	4	人権保障③(基本的人権の限界②)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	5	人権保障④(幸福追求権①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	6	人権保障⑤(幸福追求権②)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	7	人権保障⑥(法の下での平等①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	8	人権保障⑦(法の下での平等②)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	9	人権保障⑧(法の下での平等③)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	10	人権保障⑨(思想・良心の自由)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	11	人権保障⑩(信教の自由①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	12	人権保障⑪(信教の自由②)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	13	人権保障⑫(学問の自由)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	14	人権保障⑬(表現の自由①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	15	人権保障⑭(表現の自由②)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	16	人権保障⑮(表現の自由③)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	17	人権保障⑯(表現の自由④)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	18	人権保障⑰(表現の自由⑤)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	19	人権保障⑱(職業選択の自由①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	20	人権保障⑲(職業選択の自由②)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	21	人権保障⑳(職業選択の自由③)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	22	人権保障㉑(財産権①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	23	人権保障㉒(財産権②)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	24	人権保障㉓(財産権③)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			
	25	人権保障㉔(社会権①)						【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと			

	26	人権保障②⑤(社会権②)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	27	人権保障②⑥(社会権③)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	28	人権保障②⑦(社会権④)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	29	人権保障②⑧(人身の自由①)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	30	人権保障②⑨(人身の自由②)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	31	統治機構①(統治総論、国会の地位①)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	32	統治機構②(国会の地位②)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	33	統治機構③(国会の組織・活動)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	34	統治機構④(国会と議院の権能)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	35	統治機構⑤(国会議員の特権)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	36	統治機構⑥(内閣の地位・組織)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	37	統治機構⑦(内閣の権能、内閣総理大臣の権能)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	38	統治機構⑧(司法権の意義、司法権の範囲と限界①)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	39	統治機構⑨(司法権の範囲と限界②)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	40	統治機構⑩(裁判所の組織・権限)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	41	統治機構⑪(違憲立法審査権)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	42	統治機構⑫(地方自治①)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	43	統治機構⑬(地方自治②)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	44	統治機構⑭(地方自治③)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
	45	統治機構⑮(憲法保障)	【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと				
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1月月例テストを実施する。 (2)翌年1・2月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えてレポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		行政法講義									
科目名(英)											
単位数	3単位		時間数	45時間		担当者	高取 仙貴				
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験					
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年									
授業概要		公務員試験で必要となる行政法についての基本的知識を習得し、条文・判例を正確に理解する力を培う。これにより、本試験の基礎及び標準程度の問題を解くことができる理解力を養う。									
授業形態		講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					総論及び作用法については理論を、救済法については判例を、組織についてはシステムの理解をする。					
		○				本試験における標準的問題について、正解に達することができる。					
テキスト・教材 参考図書		・【テキスト】『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 4 行政法』(TAC株式会社、2019年) ・【問題集】『新スーパー過去問ゼミ6 行政法』(資格試験研究会、株式会社実務教育出版、2020年)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	行政法総論①(行政法の意義、法律による行政の原理)					授業該当範囲のテキストを精読しておくこと				
	2	行政法総論②(行政法の法源)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	3	行政法総論③(公法と私法)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	4	行政組織法①(行政主体・行政機関)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	5	行政組織法②(行政機関相互の関係、委任と代理)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	6	行政組織法③(国の行政組織)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	7	行政組織法④(地方の行政組織①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	8	行政組織法⑤(地方の行政組織②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	9	行政作用法①(行政行為① 意義)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	10	行政作用法②(行政行為② 諸効力)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	11	行政作用法③(行政行為③ 行政行為の内容による分類)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	12	行政作用法④(行政行為④ 行政裁量①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	13	行政作用法⑤(行政行為⑤ 行政裁量②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	14	行政作用法⑥(行政行為⑥ 行政行為の瑕疵①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	15	行政作用法⑦(行政行為⑦ 行政行為の瑕疵②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	16	行政作用法⑧(行政行為⑧ 行政行為の取消しと撤回)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	17	行政作用法⑨(行政行為⑨ 行政行為の附款)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	18	行政作用法⑩(行政手続法①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	19	行政作用法⑪(行政手続法②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	20	行政作用法⑫(行政手続法③)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	21	行政作用法⑬(行政法上の強制手段①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	22	行政作用法⑭(行政法上の強制手段②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	23	行政作用法⑮(行政法上の強制手段③)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	24	行政作用法⑯(行政指導①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				

	25	行政作用法⑰(行政指導②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	26	行政作用法⑱(行政計画、行政契約)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	27	行政作用法⑲(行政立法①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	28	行政作用法⑳(行政立法②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	29	行政救済法①(国家補償の意義)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	30	行政救済法②(国家賠償法1条論①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	31	行政救済法③(国家賠償法1条論②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	32	行政救済法④(国家賠償法2条論①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	33	行政救済法⑤(国家賠償法2条論②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	34	行政救済法⑥(損失補償)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	35	行政救済法⑦(行政不服審査法①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	36	行政救済法⑧(行政不服審査法②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	37	行政救済法⑨(行政不服審査法③)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	38	行政救済法⑩(行政事件訴訟法の全体像)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	39	行政救済法⑪(取消訴訟の訴訟要件①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	40	行政救済法⑫(取消訴訟の訴訟要件②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	41	行政救済法⑬(取消訴訟の訴訟要件③)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	42	行政救済法⑭(取消訴訟の審理手続き、判決の効力)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	43	行政救済法⑮(他の抗告訴訟①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	44	行政救済法⑯(他の抗告訴訟②、当事者訴訟)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	45	行政救済法⑰(客観訴訟)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は、通常授業とは別の授業コマ内で行う。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		民法講義(総則・物権)				
科目名(英)						
単位数	4単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/60時間	担当者	三角 徳之	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年				
授業概要		公務員試験で必要となる民法の「総則・物権」範囲についての基本的知識を習得し、条文・判例を正確に理解する。 これにより、本試験の基礎及び標準程度の問題に対応する解答力を養う。				
授業形態	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					民法の「総則・物権」範囲についての基本的事項を習得する。条文及び判例の理解を目指す。
		○				本試験における基礎及び標準的問題について、正解に達することができる。
テキスト・教材 参考図書		・『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 民法(上)』(TAC株式会社、2022年) ・『新スーパー過去問ゼミ6 民法Ⅰ』(実務教育出版、2020年)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	民法の全体像			授業該当範囲のテキストを精読しておくこと	
	2	総則①(権利の主体、権利能力、意思能力)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	3	総則②(行為能力、制限行為能力者①)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	4	総則③(制限行為能力者②)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	5	総則⑤(失踪宣告)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	6	総則⑥(法人)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	7	総則⑦(意思表示①)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	8	総則⑧(意思表示②)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	9	総則⑪(無効と取消し、条件・期限)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	10	総則⑫(代理①)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	11	総則⑬(代理②)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	12	総則⑭(代理③)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	13	総則⑰(時効①)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	14	総則⑱(時効②)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	15	物権①(物の意義、物権の性質・効力)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	16	物権②(物権法定主義、物権的請求権、所有権)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	17	物権③(不動産物権変動①)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	18	物権④(不動産物権変動②)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	19	物権⑦(動産物権変動)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	20	物権⑨(占有権)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	21	物権⑩(用益物権)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	22	物権⑪(共有)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	23	物権⑫(担保物権の意義・通有性①)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	24	物権⑬(担保物権の通有性②)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと	

	25	物権⑭(留置権①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	26	物権⑮(留置権②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	27	物権⑰(質権)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	28	物権⑲(抵当権①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	29	物権⑳(抵当権②)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	30	物権㉔(根抵当権)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は、通常の授業とは別の授業コマ内で行う。 各単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		民法講義(債権・親族・相続)									
科目名(英)											
単位数	4単位 (2単位に相当)		時間数	30時間/60時間		担当者	三角 徳之				
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験					
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年									
授業概要		公務員試験で必要となる民法の「債権・親族・相続」範囲についての基本的知識を習得し、条文・判例を正確に理解する。 これにより、本試験の基礎及び標準程度の問題に対応する解答力を養う。									
授業形態		講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					民法の「総則・物権」範囲についての基本的事項を習得する。条文及び判例の理解を目指す。					
		○				本試験における基礎及び標準的問題について、正解に達することができる。					
テキスト・教材 参考図書		・『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 民法(下)』(TAC株式会社、2022年) ・『新スーパー過去問ゼミ6 民法Ⅱ』(実務教育出版、2020年)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	債権総論①(債権の意義・性質)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	2	債権総論②(債務不履行①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	3	債権総論③(債務不履行②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	4	債権総論④(責任財産の保全)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	5	債権総論⑤(債権者代位権①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	6	債権総論⑥(債権者代位権②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	7	債権総論⑦(詐害行為取消権)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	8	債権総論⑧(債権の消滅原因、弁済①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	9	債権総論⑨(弁済②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	10	債権総論⑩(相殺)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	11	債権総論⑪(債権譲渡①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	12	債権総論⑫(債権譲渡②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	13	債権総論⑬(連帯債務)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	14	債権総論⑭(保証債務)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	15	債権各論①(契約総論)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	16	債権各論②(売買契約)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	17	債権各論③(賃貸借契約①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	18	債権各論④(賃貸借契約②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	19	債権各論⑤(贈与契約、消費貸借契約、使用貸借契約)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	20	債権各論⑥(請負契約、委任契約)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	21	債権各論⑦(事務管理、不当利得①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	22	債権各論⑧(不当利得②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	23	債権各論⑨(不法行為①)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	24	債権各論⑩(不法行為②)					【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				

	25	親族①(身分行為の概念、婚姻①)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	26	親族②(婚姻②、離婚)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	27	親族③(親子)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	28	相続①(相続の基本概念、相続人)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	29	相続②(相続分)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
	30	相続③(遺言、遺留分減殺請求権)	【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと				
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は、通常の授業とは別の授業コマ内で行う。 各単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		行政分野講義(政治学)									
科目名(英)											
単位数	3単位 (2単位に相当)		時間数	30時間/45時間		担当者	村田 祐貴子				
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験					
対象学科・学年		公務員中上級専攻科1年									
授業概要		公務員1次試験専門試験において出題される政治学分野の知識を授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。									
授業形態		講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
		○				本試験における標準レベルの問題について、正解に達することができる。					
	○					政治学について、大学学部レベルの水準を理解し、本試験に対応することができるようになる。					
テキスト・教材 参考図書		オリジナルレジュメ(担当講師作成のオリジナルの授業レジュメ)									
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	政治学の基礎事項 政治権力						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	2	国家とイデオロギー						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	3	リーダーシップとエリート						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	4	古代の政治思想						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	5	中世の政治思想						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	6	デモクラシーの歴史						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	7	議会						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	8	国会						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	9	議院内閣制と大統領制						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	10	各国の政治制度 ドイツ						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	11	各国の政治制度 フランス・イタリア						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	12	各国の政治制度 韓国・中国・ロシア						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	13	政党体制論						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	14	政党						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	15	圧力団体						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	16	政治意識 政治的無関心						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	17	政治意識 政治文化論						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	18	政治意識 社会関係資本						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	19	投票行動						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	20	近代政治思想						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	21	フェミニズム						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	22	マスメディアの機能						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	23	マスメディアの効果						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			
	24	マスメディアの新協力効果論						専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。			

	25	政治過程論	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	26	政策決定論	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	27	政治体制と政治変動	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	28	20世紀の政治思想	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	29	現代の民主主義理論と独裁	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	30	政治学の現在 行動科学への批判	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	行政分野講義(行政学)						
科目名(英)							
単位数	3単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/45時間	担当者	村田 祐貴子	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員1次試験専門試験において出題される行政学分野の知識を授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。						
授業形態	講義: ○		演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				本試験における標準レベルの問題について、正解に達することができる。	
	○					行政学について、大学学部レベルの水準を理解し、本試験に対応することができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ(担当講師によるオリジナルの授業レジュメ)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	行政学の展開 行政の概念と福祉国家				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	行政学の起源				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	アメリカ行政学の発展				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	アメリカ行政学各論				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	現代日本の行政制度 行政機関の組織1				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	戦後日本の行政組織				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	公務員制度				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	行政組織の運営 予算制度				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	行政管理と評価				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	行政改革				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	行政改革の手法				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	官僚制				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	行政の活動と統制 政策形成の理論				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	情報公開制度				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	地方の行政				専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	(1)10月～翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	月例テスト	◎	◎				72%
	麻生模試	◎	◎				28%
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						